

平成 30 年度事業報告

I 事業実施概要

本会は、健康でたくましい県民の育成を図るため、県民総スポーツならびに競技力向上を目指して積極的に諸事業を実施した。

昨年 9 月～10 月に開催された「福井しあわせ元気国体（第 73 回国民体育大会）」に向けて、強化練習・遠征等の競技力向上対策に取り組み、39 競技で入賞し総合得点 2896.0 点を獲得（参加点 400 点含）、天皇杯 1 位および皇后杯 1 位で目標を達成できた。

国体総合優勝に向けて、競技団体代表者との意見交換も行いながら、県スポーツ協会、県競技力向上対策本部委員会、競技団体が一体となって、競技力向上対策を推進した。

また、第 74 回冬季国体ではスケート競技は 56.5 点を獲得し競技別天皇杯順位 12 位、スキー競技は 14 点を獲得し競技別天皇杯順位 11 位、競技得点合計 70.5 点で冬季総合順位 15 位と健闘し、本国体へ勢いがついた。

II 事業内容

1. 競技力向上事業

「福井県競技力向上基本計画」に基づき、積極的かつ効果的な事業展開を図った。

	事業名	内容
(1)	競技力向上対策事業	① 国民体育大会、各種全国大会に向けた競技力の向上 ・国体強化対策事業 41 競技 ・プレ強化事業 39 競技（2496.0 点） ・高校生トップアスリート確保事業 166 名（18 競技） ・ふくいナショナルアスリートマルチサポート事業 86 名 （スーパーアスリート 57 名、ナショナルアスリート 29 名） ・特別強化コーチ配置事業 98 名（28 競技） ・専門トレーナー派遣事業 32 競技 ・ふるさと選手支援事業 116 名（22 競技） ② ジュニア対策 ・ジュニア育成強化事業 16 競技
(2)	積善会スポーツ振興事業	① 少年スポーツの振興 ・ジュニアアスリートサポート事業 23 名（5 競技）
(3)	ゴルフ寄金事業	福井しあわせ元気国体（第 73 回国民体育大会）出場候補選手・監督に対し、オリジナルバックを支給した。

(4)	関係会議等 開催事業	① 福井県競技力向上対策本部委員会 平成 30 年 4 月 24 日 福井県営体育館 " 11 月 27 日 フェニックス・プラザ
		② 国体結果報告会・祝勝会 平成 30 年 11 月 27 日 フェニックス・プラザ
		③ 競技力向上個別検討会 平成 31 年 3 月
		④ 加盟団体理事長会議 平成 31 年 3 月 22 日 福井県営体育館

2. 国体等派遣事業

国体に本県代表として選考された監督・選手を派遣した。

大会名	会期	開催地	選手団
第 73 回国民体育大会	平成 30 年 9 月 25 日～10 月 9 日 〈会期前実施〉9 月 9 日～17 日	福井県他	1,002 名
第 74 回 国民体育大会冬季大会	〈スケート・アイスホッケー競技会〉 平成 31 年 1 月 30 日～2 日 3 日 〈スキー競技会〉2 月 14 日～17 日	北海道	52 名

3. スポーツ医・科学関係事業

	事業名	内容
(1)	医・科学活用 推進事業	<p>国体候補選手、成年・ジュニア指定選手を対象に、スポーツ医・科学の研究成果を取り入れた計画的な練習やトレーニングの導入、栄養管理、傷害予防、メンタルトレーニング、リハビリ等の医・科学サポートの実践を通して競技力向上を図った。</p> <p>① メディカルチェック・フィットネスチェック 平成 30 年度に新たに指定を受けた選手にアンケートを送付し、必要な選手には 2 次検診を行った。</p> <p>② 国民体育大会帯同サポート 本国体 62 名、冬季国体 1 名</p> <p>③ 第 7 回福井県スポーツ医科学研究大会 平成 30 年 12 月 9 日 福井商工会議所 115 名参加</p>
(2)	研修会等 開催事業	<p>国体選手を中心にドーピング防止教育・啓発活動や女性アスリート支援事業を実施し、健全なスポーツ活動の普及啓発を図った。</p> <p>① アンチ・ドーピング講習会 3 回 約 1,800 名</p> <p>② アンチ・ドーピングガイドブック配布 1,000 部</p> <p>③ アンチ・ドーピング出前講習会 5 競技 約 150 名</p> <p>④ ルナコントロール出前講座 7 回 約 450 名</p>

4. 1 県民 1 スポーツ推進事業

(1) 県民スポーツ祭開催事業

今年度は高校の部、中学校の部のみの縮小開催で 25 競技・種目による「18 県民スポーツ祭」を開催した。

大会名	開催地	大会期日	参加者総数
18 県民スポーツ祭	県下一円	平成 30 年 4 月～平成 31 年 2 月	25,185 名

(2) スポーツ体験事業

「1 県民 1 スポーツ」の理念を推進

区分	開催地	開催期日
はぴりゅうフェスタ (スポーツ体験ブース)	サンドーム福井	平成 30 年 12 月 16 日

5. 関係団体育成事業

	事業名	内容
(1)	社会体育振興事業	本会加盟の 17 市町スポーツ（体育）協会・46 競技団体が県下各地域、各競技・種目毎に行うスポーツ普及振興事業に対して助成を行った。
(2)	総合型地域スポーツクラブ育成推進事業	生涯スポーツ社会の実現に向け、県広域スポーツセンターと連携して総合型地域スポーツクラブ育成を推進した。 県内クラブ数 27 クラブ
(3)	スポーツ指導者協議会育成事業	(公財) 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の資質向上と活動促進を図り、福井県スポーツ指導者協議会の育成・発展を推進した。 スポーツ指導者協議会 会員 2,152 名

6. スポーツ指導者育成事業

	事業名	内容
(1)	公認スポーツ指導員養成講習会	(公財) 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づき、指導者の公認資格取得を推進し、県内各地のスポーツ指導現場で活躍できる指導者を養成した。 ① バスケットボール指導員 平成 31 年 1 月 (5 日間) 6 名
(2)	スポーツ指導者研修会	県内スポーツ指導者の資質向上と活動促進を図り、研修会を開催した。 ① 平成 30 年 11 月 25 日 30 名 ② 平成 31 年 2 月 24 日 276 名

7. スポーツ少年団育成事業

平成30年度は、505団、団員9,691名、指導者2,567名が登録され、青少年の健全育成に大きく貢献している。

主な事業として、指導者の養成と資質向上ならびに母集団の組織整備等を推進した。

	事業名	内容	備考
(1)	第44回 日独スポーツ少年団同時交流	スポーツ活動を中心に、相互の文化・習慣等に触れる交流・研修により、参加者の国際性の高揚と両国の親善を図った。 平成30年7月31日～8月17日	派遣団員1名
(2)	指導者および育成母集団研修会兼認定育成員研修会	スポーツ少年団指導者および団員保護者・スポーツ少年団認定育成員を対象とした研修会を開催した。 期日：平成30年8月4日 場所：越前市AW-Iスポーツアリーナ	参加者 68名
(3)	スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会	地域住民のスポーツの生活化・定着化を促進するスポーツリーダーの養成とスポーツ少年団認定員の養成を図った。 ① 平成30年11月17日～18日 越前市 ② 〃 11月23日～24日 坂井市 ③ 〃 12月1日～2日 小浜市 ④ 〃 12月8日～9日 大野市	参加者 248名
(4)	幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム普及推進研修会	幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラムの周知・普及することを目的として研修会を開催した。 ① 平成30年12月22日 越前市 ② 平成31年2月16日 坂井市 ③ 〃 2月23日 小浜市	参加者 39名

8. 広報・情報提供事業

	事業名	内容
(1)	広報普及活動事業	国際大会や国民体育大会等における本県選手の活躍および各種表彰等についての広報活動に努めた。 スポ協ニュース 1,700部×3回
(2)	スポーツ情報公開事業	公式ホームページにより各種情報を公表した。 ① 組織、事業概要等 ② 国体等のタイムリーな結果報告
(3)	国体写真集の作成	天皇杯・皇后杯獲得への軌跡 - 第73回国民体育大会記録写真集 - を400部作成し、関係団体に配布した。

9. 表彰事業

本県のスポーツ振興に著しく貢献したものを表彰した。

	表彰名	対象者	受賞数
(1)	スポーツ功労者賞	本会または加盟団体の発展のために長年尽力し、功績が顕著な個人	33名
(2)	優秀選手賞	福井県民または本会加盟団体登録者および県内高等学校出身の大学生であり、全国大会ならびに国際大会で優秀な成績を収めた者	233名
(3)	優秀指導者賞	前項(2)の優秀選手を育成した指導者	8名
(4)	国民体育大会賞	その年の国体で天皇杯および皇后杯得点に貢献した競技団体、監督、選手	団体 39 団体 個人 491 名
(5)	特別表彰	本県のスポーツ振興に長年にわたって尽力し、特に顕著な功績を残した個人、団体	個人 1 名

10. その他

(1) 全国大会、ブロック大会および県大会等の共催・後援

(2) 安全管理の強化の取り組み

- ・国民体育大会参加者傷害補償制度への加入促進
- ・加盟団体の賠償責任保険への加入促進
- ・スポーツ安全保険への加入促進

区 分	団体員数	対 象 団 体
A 1・AW	31,085	中学生以下の子ども
A 2	3,443	高校生以上の文化活動団体
B	4,689	老人などのクラブ
C	17,583	高校生以上のスポーツ活動団体
D	0	危険度の高いスポーツ活動団体
短期スポーツ教室	145	
合 計	56,945	